

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	与謝野晶子顕彰事業の推進				事業番号	008-036	
担当部署名	文化観光局	局	文化国際部	部	文化課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4)文化芸術の振興・国際交流の強化
			有	取組の方向性	②「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	現状値	—	目標値	—
			有	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	第2期堺文化芸術推進計画		
3	事業開始年度	平成 9 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	文化芸術基本法、自由都市堺文化芸術まちづくり条例		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	市内外の与謝野晶子・文学愛好者等				対象数	単位
						—	—
7	事業の目的	本市が生んだ日本の近代文学を切り開いた歌人である与謝野晶子の業績等を広く市内外に発信し、その顕彰を行うことで、都市魅力の向上や市民の郷土愛の向上を図る。					
8	事業内容	与謝野晶子および晶子ゆかりの人々の業績についての顕彰や研究を推進する与謝野晶子倶楽部が実施する以下の事業に対し助成を行う。 (1)機関誌・資料等の発行 (2)講演会の開催 (3)研究会の開催 (4)その他本倶楽部の目的達成に必要な事業					
	※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先	与謝野晶子倶楽部（補助金）					
10	公民連携・協働事業	与謝野晶子の顕彰施設である、さかい利品の杜と連携し事業を実施。					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	与謝野晶子の顕彰を通じた都市魅力の向上	—	目標値	85	90	90	—
			実績値	86	85		
			達成率	101%	94%		
	当該指標を選定した理由	顕彰事業を通じ、堺ゆかりの先人の功績等を広く発信することが、都市魅力の向上に繋がると考えるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	市政モニター調査で、与謝野晶子を含めた堺ゆかりの先人たちを世界に誇れる堺の歴史文化資源と考えていると答えた方の割合					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	与謝野晶子倶楽部事業への参加者（短歌大会、各種講座）	人	目標値	8,000	13,000	13,000	
			実績値	12,727	9,481		
			達成率	159%	73%		
	当該指標を選定した理由	より多くの方に事業参加いただくことが、与謝野晶子の功績や生き方を知り、短歌への理解を深めることに繋がると考えるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	短歌大会投稿者、各種講座参加者					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	与謝野晶子顕彰事業の推進	事業番号	008-036
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,450	1,273	1,306	1,278	1,306
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	1,450	1,273	1,306	1,278	1,306
14	人件費（b）	6,580	6,500	11,160	11,160	11,690
15	年間経費（c）=(a)+(b)	8,030	7,773	12,466	12,438	12,996

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	事業費内訳	倶楽部補助金	決算	1,236	1,236		決算			
			予算	1,236	1,236		予算			
	消耗品費		決算	27	27		決算			
			予算	32	32		予算			
	旅費		決算	1	1		決算			
			予算	33	33		予算			
	費用弁償		決算	14	14		決算			
			予算	5	5		予算			
			決算				決算			
			予算				予算			
			決算				決算			
			予算				予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 短歌大会投稿者、各種講座等の事業参加者	人	12,727	9,481
	② 上記①にかかる年間経費	千円	1,273	1,278
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	100	135
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・令和7年度は、与謝野晶子倶楽部において予定していた晶子フォーラムや入門講座等の事業を実施し、多くの参加者を得ることができた。また、「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」については、応募者数は令和6年度には及ばなかったものの、8,000人を超える応募があった。今後は、費用対効果の向上に向けて参加者数の増加を図るとともに、業務の効率化を推進する必要がある。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・与謝野晶子倶楽部事業における講演や講座の多くは、さかい利晶の杜との共催事業であり、当該施設への来訪の契機となっていることから、環濠エリアへの来訪者数に係るKPIの達成に寄与した。 ・全国の高校生を対象とした「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」を通じて、短歌の魅力や堺が輩出した歌人・与謝野晶子について、若い世代に広く発信することができた。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	与謝野晶子倶楽部主催のイベントや講座には多くの参加者があり、郷土愛の醸成及び都市魅力の向上に寄与している。特に「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」の応募者数は、令和3年度の約6,000人から約8,000人に増加しており、若年層への顕彰において高い効果が認められる。
	有効性	■ 高い □ 低い	